



使用する前に

- [タスク フロー](#) (1 ページ)
- [初期設定](#) (2 ページ)
- [Firepower Chassis Manager のログイン/ログアウト](#) (9 ページ)
- [FXOS CLIへのアクセス](#) (10 ページ)

タスク フロー

次に、Firepower 4100/9300 シャーシを設定する際に実行する必要がある基本的なタスクの手順を示します。

手順

- ステップ 1** Firepower 4100/9300 シャーシハードウェアを設定します (『[Cisco Firepower Security Appliance Hardware Installation Guide](#)』を参照)。
 - ステップ 2** 初期設定を完了します ([初期設定 \(2 ページ\)](#) を参照)。
 - ステップ 3** Firepower Chassis Manager にログインします ([Firepower Chassis Manager のログイン/ログアウト \(9 ページ\)](#) を参照)。
 - ステップ 4** 日時を設定します ([日時の設定](#) を参照)。
 - ステップ 5** DNS サーバを設定します ([DNS サーバの設定](#) を参照)。
 - ステップ 6** 製品ライセンスを登録します ([ASA のライセンス管理](#) を参照)。
 - ステップ 7** ユーザを設定します ([ユーザ管理](#) を参照)。
 - ステップ 8** 必要に応じてソフトウェアの更新を実行します ([イメージ管理](#) を参照)。
 - ステップ 9** 追加のプラットフォーム設定を実行します ([プラットフォーム設定](#) を参照)。
 - ステップ 10** インターフェイスを設定します ([インターフェイス管理](#) を参照)。
 - ステップ 11** 論理デバイスを作成します ([論理デバイス](#) を参照)。
-

初期設定

システムの設定と管理に Firepower Chassis Manager または FXOS CLI を使用するには、初めにいくつかの初期設定タスクを実行する必要があります。初期設定を実行するには、コンソールポートを介してアクセスする FXOS CLI を使用するか、管理ポートを介してアクセスする SSH、HTTPS、または REST API を使用します（この手順は、ロータッチプロビジョニングとも呼ばれます）。

コンソールポートを使用した初期設定

FXOS CLI を使用して Firepower 4100/9300 シャーシに初めてアクセスすると、システムの設定に使用できるセットアップウィザードが表示されます。



(注) 初期設定を繰り返すには、次のコマンドを使用して既存の設定をすべて消去する必要があります。

```
Firepower-chassis# connect local-mgmt  
firepower-chassis(local-mgmt)# erase configuration
```

Firepower 4100/9300 シャーシの単一の管理ポートには、1つのみの IPv4 アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、または1つのみの IPv6 アドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックスを指定する必要があります。管理ポートの IP アドレスに対して IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかを設定できます。

始める前に

1. Firepower 4100/9300 シャーシの次の物理接続を確認します。
 - コンソールポートがコンピュータ端末またはコンソールサーバに物理的に接続されている。
 - 1 Gbps イーサネット管理ポートが外部ハブ、スイッチ、またはルータに接続されている。

詳細については、ハードウェア設置ガイドを参照してください。

2. コンソールポートに接続しているコンピュータ端末（またはコンソールサーバ）でコンソールポートパラメータが次のとおりであることを確認します。
 - 9600 ボー
 - 8 データ ビット
 - パリティなし
 - 1 ストップ ビット

3. セットアップスクリプトで使用する次の情報を収集します。

- 新しい管理者パスワード
- 管理 IP アドレスおよびサブネット マスク
- ゲートウェイ IP アドレス
- HTTPS および SSH アクセスを許可するサブネット
- ホスト名とドメイン名
- DNS サーバの IP アドレス

手順

ステップ1 シャーシの電源を入れます。

ステップ2 ターミナルエミュレータを使用して、シリアルコンソールポートに接続します。

Firepower 4100/9300 には、RS-232 - RJ-45 シリアルコンソールケーブルが付属しています。接続には、サードパーティ製のシリアル-USB ケーブルが必要になる場合があります。次のシリアルパラメータを使用します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット

ステップ3 プロンプトに従ってシステム設定を行います。

(注) 必要に応じて、初期設定時に随時デバッグメニューに移動し、セットアップ問題のデバッグ、設定の中止、およびシステムの再起動を行うことができます。デバッグメニューに移動するには、Ctrl+Cを押します。デバッグメニューを終了するには、Ctrl+Dを2回押します。Ctrl+Dを押す1回目と2回目の間に入力したものがあ場合、2回目のCtrl+Dを押した後に実行されます。

例：

```
---- Basic System Configuration Dialog ----

This setup utility will guide you through the basic configuration of
the system. Only minimal configuration including IP connectivity to
the FXOS Supervisor is performed through these steps.

Type Ctrl-C at any time for more options or to abort configuration
and reboot system.
To back track or make modifications to already entered values,
complete input till end of section and answer no when prompted
to apply configuration.
```

```
You have chosen to setup a new Security Appliance.
Continue? (yes/no): y

Enforce strong password? (yes/no) [y]: n

Enter the password for "admin": Farscape&32
Confirm the password for "admin": Farscape&32
Enter the system name: firepower-9300

Supervisor Mgmt IP address : 10.80.6.12

Supervisor Mgmt IPv4 netmask : 255.255.255.0

IPv4 address of the default gateway : 10.80.6.1

The system cannot be accessed via SSH if SSH Mgmt Access is not configured.

Do you want to configure SSH Mgmt Access? (yes/no) [y]: y

SSH Mgmt Access host/network address (IPv4/IPv6): 10.0.0.0

SSH Mgmt Access IPv4 netmask: 255.0.0.0

Firepower Chassis Manager cannot be accessed if HTTPS Mgmt Access is not configured.

Do you want to configure HTTPS Mgmt Access? (yes/no) [y]: y

HTTPS Mgmt Access host/network address (IPv4/IPv6): 10.0.0.0

HTTPS Mgmt Access IPv4 netmask: 255.0.0.0

Configure the DNS Server IP address? (yes/no) [n]: y

DNS IP address : 10.164.47.13

Configure the default domain name? (yes/no) [n]: y

Default domain name : cisco.com

Following configurations will be applied:

Switch Fabric=A
System Name=firepower-9300
Enforced Strong Password=no
Supervisor Mgmt IP Address=10.89.5.14
Supervisor Mgmt IP Netmask=255.255.255.192
Default Gateway=10.89.5.1
SSH Access Configured=yes
SSH IP Address=10.0.0.0
SSH IP Netmask=255.0.0.0
HTTPS Access Configured=yes
HTTPS IP Address=10.0.0.0
HTTPS IP Netmask=255.0.0.0
DNS Server=72.163.47.11
Domain Name=cisco.com

Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): y
Applying configuration. Please wait... Configuration file - Ok
.....

Cisco FPR Series Security Appliance
firepower-9300 login: admin
Password: Farscape&32
```

```
Successful login attempts for user 'admin' : 1
Cisco Firepower Extensible Operating System (FX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2009-2019, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
```

```
[...]
```

```
firepower-chassis#
```

管理ポートを使用したロータッチ プロビジョニング

Firepower 4100/9300 シャーシの起動時にスタートアップ コンフィギュレーションが見つからない場合、デバイスはロータッチプロビジョニングモードに入り、Dynamic Host Control Protocol (DHCP) サーバを検出して、その管理インターフェイス IP を使用して自身のブートストラップを実行します。その後、管理インターフェイスを介して接続して、SSH、HTTPS、または FXOS REST API を使用してシステムを設定できます。



- (注) 初期設定を繰り返すには、次のコマンドを使用して既存の設定をすべて消去する必要があります。

```
Firepower-chassis# connect local-mgmt
firepower-chassis(local-mgmt)# erase configuration
```

Firepower 4100/9300 シャーシの単一の管理ポートには、1つのみの IPv4 アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、または1つのみの IPv6 アドレス、ゲートウェイ、ネットワーク プレフィックスを指定する必要があります。管理ポートの IP アドレスに対して IPv4 または IPv6 アドレスのいずれかを設定できます。

始める前に

セットアップスクリプトで使用する次の情報を収集します。

- 新しい管理者パスワード
- 管理 IP アドレスおよびサブネット マスク
- ゲートウェイ IP アドレス
- HTTPS および SSH アクセスを許可するサブネット
- ホスト名とドメイン名
- DNS サーバの IP アドレス

手順

ステップ 1 DHCP サーバを設定して、Firepower 4100/9300 シャーシの管理ポートに IP アドレスを割り当てます。

Firepower 4100/9300 シャーシからの DHCP クライアント要求には、次のものが含まれます。

- 管理インターフェイスの MAC アドレス。
- DHCP オプション 60 (vendor-class-identifier) : 「FPR9300」または「FPR4100」に設定します。
- DHCP オプション 61 (dhcp-client-identifier) : Firepower 4100/9300 シャーシのシリアル番号に設定します。このシリアル番号は、シャーシの引き出しタブで確認できます。

ステップ 2 Firepower 4100/9300 シャーシの電源を入れます。
シャーシの起動時にスタートアップコンフィギュレーションが見つからない場合、デバイスはロータッチプロビジョニングモードに入ります。

ステップ 3 HTTPS を使用してシステムを設定するには、次の手順を実行します。

a) サポートされているブラウザを使用して、アドレス バーに次の URL を入力します。

https://<ip_address>/api

ここで、<ip_address> は、DHCP サーバによって割り当てられた Firepower 4100/9300 シャーシの管理ポートの IP アドレスです。

(注) サポートされるブラウザの詳細については、使用しているバージョンのリリース ノートを参照してください

(<http://www.cisco.com/c/en/us/support/security/firepower-9000-series/products-release-notes-list.html> を参照)。

b) ユーザ名とパスワードの入力を求められたら、それぞれ **install** と <chassis_serial_number> を入力してログインします。

<chassis_serial_number> は、シャーシのタグを調べると確認できます。

c) プロンプトに従ってシステム設定を行います。

- 強力なパスワードの適用ポリシー (強力なパスワードのガイドラインについては、[ユーザアカウント](#) を参照)。
- admin アカウントのパスワード。
- システム名。
- スーパーバイザ管理の IPv4 アドレスとサブネット マスク、または IPv6 アドレスとプレフィックス。
- デフォルト ゲートウェイの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス。

- SSH アクセスが許可されているホスト/ネットワーク アドレスおよびネットマスク/プレフィックス。
- HTTPS アクセスが許可されるホスト/ネットワークアドレスとネットマスク/プレフィックス。
- DNS サーバの IPv4 または IPv6 アドレス。
- デフォルト ドメイン名。

d) [送信 (Submit)] をクリックします。

ステップ 4 SSH を使用してシステムを設定するには、次の手順を実行します。

a) 次のコマンドを使用して、管理ポートに接続します。

```
ssh install@<ip_address>
```

ここで <ip_address> は、DHCP サーバによって割り当てられた Firepower 4100/9300 シャーシの管理ポートの IP アドレスです。

b) パスワードの入力を求められたら、**Admin123** を入力してログインします。

c) プロンプトに従ってシステム設定を行います。

(注) 必要に応じて、初期設定時に随時デバッグメニューに移動し、セットアップ問題のデバッグ、設定の中止、およびシステムの再起動を行うことができます。デバッグメニューに移動するには、Ctrl+C を押します。デバッグメニューを終了するには、Ctrl+D を 2 回押します。Ctrl+D を押す 1 回目と 2 回目の間に入力したものがあつた場合、2 回目の Ctrl+D を押した後に実行されます。

例 :

```
---- Basic System Configuration Dialog ----
```

```
This setup utility will guide you through the basic configuration of
the system. Only minimal configuration including IP connectivity to
the FXOS Supervisor is performed through these steps.
```

```
Type Ctrl-C at any time for more options or to abort configuration
and reboot system.
```

```
To back track or make modifications to already entered values,
complete input till end of section and answer no when prompted
to apply configuration.
```

```
You have chosen to setup a new Security Appliance.
```

```
Continue? (yes/no): y
```

```
Enforce strong password? (yes/no) [y]: n
```

```
Enter the password for "admin": Farscape&32
```

```
Confirm the password for "admin": Farscape&32
```

```
Enter the system name: firepower-9300
```

```
Supervisor Mgmt IP address : 10.80.6.12
```

```
Supervisor Mgmt IPv4 netmask : 255.255.255.0
```

```

IPv4 address of the default gateway : 10.80.6.1

The system cannot be accessed via SSH if SSH Mgmt Access is not configured.

Do you want to configure SSH Mgmt Access? (yes/no) [y]: y

SSH Mgmt Access host/network address (IPv4/IPv6): 10.0.0.0

SSH Mgmt Access IPv4 netmask: 255.0.0.0

Firepower Chassis Manager cannot be accessed if HTTPS Mgmt Access is not configured.

Do you want to configure HTTPS Mgmt Access? (yes/no) [y]: y

HTTPS Mgmt Access host/network address (IPv4/IPv6): 10.0.0.0

HTTPS Mgmt Access IPv4 netmask: 255.0.0.0

Configure the DNS Server IP address? (yes/no) [n]: y

DNS IP address : 10.164.47.13

Configure the default domain name? (yes/no) [n]: y

Default domain name : cisco.com

Following configurations will be applied:

Switch Fabric=A
System Name=firepower-9300
Enforced Strong Password=no
Supervisor Mgmt IP Address=10.89.5.14
Supervisor Mgmt IP Netmask=255.255.255.192
Default Gateway=10.89.5.1
SSH Access Configured=yes
  SSH IP Address=10.0.0.0
  SSH IP Netmask=255.0.0.0
HTTPS Access Configured=yes
  HTTPS IP Address=10.0.0.0
  HTTPS IP Netmask=255.0.0.0
DNS Server=72.163.47.11
Domain Name=cisco.com

Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no):
y
Applying configuration. Please wait... Configuration file - Ok
.....

Initial Setup complete, Terminating sessions
.Connection to <ip_address> closed.

```

ステップ 5 FXOS REST API を使用してシステムを設定するには、次の手順を実行します。

REST API を使用してシステムを設定するには、次の例を使用します。詳細については、<https://developer.cisco.com/site/ssp/firepower/>を参照してください。

(注) dns、domain_name、https_net、https_mask、ssh_net、ssh_mask の各属性はオプションです。REST API 設定の場合、他のすべての属性は必須です。

IPv4 REST API example:


```
{
  "fxosBootstrap": {
    "dns": "1.1.1.1",
    "domain_name": "cisco.com",
    "mgmt_gw": "192.168.0.1",
    "mgmt_ip": "192.168.93.3",
    "mgmt_mask": "255.255.0.0",
    "password1": "admin123",
    "password2": "admin123",
    "strong_password": "yes",
    "system_name": "firepower-9300",
    "https_mask": "2",
    "https_net": ":",
    "ssh_mask": "0",
    "ssh_net": ":"
  }
}
```

IPV6 REST API example

```
{
  "fxosBootstrap": {
    "dns": "2001::3434:4343",
    "domain_name": "cisco.com",
    "https_mask": "2",
    "https_net": ":",
    "mgmt_gw": "2001::1",
    "mgmt_ip": "2001::2001",
    "mgmt_mask": "64",
    "password1": "admin123",
    "password2": "admin123",
    "ssh_mask": "0",
    "ssh_net": ":",
    "strong_password": "yes",
    "system_name": "firepower-9300"
  }
}
```

Firepower Chassis Manager のログイン/ログアウト

Firepower Chassis Manager を使用して Firepower 4100/9300 シャーシを設定するには、その前に、有効なユーザー アカウントを使用してログオンする必要があります。ユーザー アカウントの詳細については、[ユーザ管理](#)を参照してください。

一定期間にわたって操作がない場合は、自動的にシステムからログアウトされます。デフォルトでは、10分間にわたり操作を行わないと自動的にログアウトします。このタイムアウト設定を変更するには、[セッションタイムアウトの設定](#)を参照してください。また、セッションがアクティブな場合でも、一定時間の経過後にユーザをシステムからログオフさせるように絶対タイムアウトを設定することもできます。絶対タイムアウトを設定するには、[絶対セッションタイムアウトの設定](#)を参照してください。

システムを変更した結果、Firepower Chassis Manager から自動的にログアウトされる場合の一覧については、[セッション変更により Firepower Chassis Manager セッションが閉じる場合](#)を参照してください。



- (注) 指定した時間でユーザがシステムからロックアウトされる前に、ログイン試行の失敗を特定の数だけ許可するように Firepower Chassis Manager を任意で設定できます。詳細については、[ログイン試行の最大回数](#)の設定を参照してください。

手順

ステップ 1 Firepower Chassis Manager にログインするには、次の手順を実行します。

- a) サポートされているブラウザを使用して、アドレス バーに次の URL を入力します。

`https://<chassis_mgmt_ip_address>`

ここで、`<chassis_mgmt_ip_address>` は、初期設定時に入力した Firepower 4100/9300 シャーシの IP アドレスまたはホスト名です。

- (注) サポートされるブラウザの詳細については、使用しているバージョンのリリース ノートを参照してください

(<http://www.cisco.com/c/en/us/support/security/firepower-9000-series/products-release-notes-list.html> を参照)。

- b) ユーザ名とパスワードを入力します。
c) [ログイン (Login)] をクリックします。

ログインすると Firepower Chassis Manager が開き、[概要 (Overview)] ページが表示されます。

ステップ 2 Firepower Chassis Manager からログアウトするには、ナビゲーション バーに表示されている自分のユーザ名をポイントし、[ログアウト (Logout)] を選択します。
Firepower Chassis Manager からログアウトすると、ログイン画面に戻ります。

FXOS CLIへのアクセス

FXOS CLIには、コンソールポートに繋いだ端末を使って接続します。コンソールポートに接続しているコンピュータ端末（またはコンソールサーバ）でコンソールポートパラメータが次のとおりであることを確認します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- パリティなし
- 1 ストップ ビット

SSH と Telnet を使用しても FXOS CLI に接続できます。FXOS は最大 8 つの SSH 接続を同時にサポートできます。SSH で接続するには、Firepower 4100/9300 シャーシのホスト名または IP アドレスが必要になります。

次のシンタックスの例のいずれかを使用して、SSH、Telnet、または Putty でログインします。



(注) SSH ログインでは大文字と小文字が区別されます。

Linux 端末からは以下の SSH を使用します。

- **ssh ucs-auth-domain *username*@{*UCSM-ip-address* | *UCMS-ipv6-address*}**
ssh ucs-example *j*smith@192.0.20.11
ssh ucs-example *j*smith@2001::1
- **ssh -l ucs-auth-domain *username* {*UCSM-ip-address* | *UCSM-ipv6-address* | *UCSM-host-name*}**
ssh -l ucs-example *j*smith 192.0.20.11
ssh -l ucs-example *j*smith 2001::1
- **ssh {*UCSM-ip-address* | *UCSM-ipv6-address* | *UCSM-host-name*} -l ucs-auth-domain *username***
ssh 192.0.20.11 -l ucs-example *j*smith
ssh 2001::1 -l ucs-example *j*smith
- **ssh ucs-auth-domain *username*@{*UCSM-ip-address* | *UCSM-ipv6-address*}**
ssh ucs-ldap23 *j*smith@192.0.20.11
ssh ucs-ldap23 *j*smith@2001::1

Linux 端末からは以下の Telnet を使用します。



(注) デフォルトでは、Telnet はディセーブルになっています。Telnet を有効化する手順については、[Telnet の設定](#)を参照してください。

- **telnet ucs-*UCSM-host-name* ucs-auth-domain *username***
telnet ucs-qa-10
login: ucs-ldap23 *bl*radmin
- **telnet ucs-{*UCSM-ip-address* | *UCSM-ipv6-address*} ucs-auth-domain *username***
telnet 10.106.19.12 2052
ucs-qa-10-A login: ucs-ldap23 *bl*radmin

Putty クライアントから :

- **ucs-auth-domain *username*** でログインします。
Login as: ucs-example *j*smith



-
- (注) デフォルトの認証がローカルに設定されており、コンソール認証がLDAPに設定されている場合は、**ucs-local\admin** (admin はローカル アカウントの名前) を使用して Putty クライアントからファブリック インターコネクにログインできます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。